

資料1

議題1. 無作為抽出公募委員 候補者登録制度の概要と 成果について

第5回市民参加推進会議

平成29年12月25日(月) 13時～16時

市役所本庁舎3階 会議室301

本日の内容

1. 審議会等における市民参加の現状と課題
2. 公募委員候補者登録制度の試行
3. 公募委員候補者登録制度の登録申込者
4. 今後の公募委員候補者登録制度

1. 審議会等における市民参加の現状と課題

審議会等における市民参加とは？



課題解決や状況改善のための政策・制度の立案・実施・
評価の一連のプロセス

市民の経験、蓄積、知見、感覚、感性を生かす。

市民参加条例の前文より引用

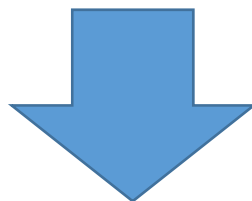
白井市は、市民参加により**市民一人ひとりが持つ豊かな創造性、知識、経験等を十分に活かしながら**、より開かれた行政を展開し、市民主体のまちづくりを行えるよう、この条例を制定します。

専門家が見落としがちな部分を補完する。

1. 審議会等における市民参加の現状と課題

市民公募委員の現状と課題

- ・参加する市民が固定化している。
- ・働き盛り世代や若年層の参加が少ない。
- ・女性の参加が男性に比べて少ない。



多様な市民層の参加が必要！

**ライフステージ(年齢)、性別、居住歴、
受益の有無**

1. 審議会等における市民参加の現状と課題

課題解決策

住民基本台帳から無作為抽出による公募委員就任へのはたらきかけ

<過去の実施例>

(1)事業仕分けにおける市民判定人

・参加希望者 12.8% 全国平均4.2%（平成24年度）

(2)総合計画及び都市マスタープラン策定勉強会

<参考> 他市の取り組み

・全国で7自治体で制度化（市民活動支援課調べ）

1. 東京都三鷹市	平成22年度	18.8万人	5. 大阪府生駒市	平成25年度	11.9万人
2. 大阪府箕面市	平成23年度	13.5万人	6. 埼玉県朝霞市	平成25年度	13.3万人
3. 愛知県知立市	平成24年度	6.9万人	7. 東京都狛江市	平成25年度	8.0万人
4. 新潟県新潟市	平成25年度	80.8万人			

公募委員候補者制度と市民参加推進会議

1. 市民参加推進会議答申内容・取組み結果一覧

審議年度	答申内容	取組み結果
27年度	・情報公開場所の3原則 ・市民参加への積極的な取組みと適切な手法の選択 ・市民参加をさらに進めるための新たな評価方法の検討	・情報公開については情報公開コーナー、市HP、図書館の3箇所の公開を必須とすることを決定 ・職員を対象とした市民参加に対する研修の開催 ・平成28年度より事業担当課の職員ヒアリングの試行実施を決定
26年度	・市民目線の情報提供 ・公募委員の応募増加対策 ・市民参加条例の改正に向けた議論	・情報公開コーナーにおける会議録の冊子に中表紙の差し込み ・図書館に会議録を閲覧できるコーナーを設置 ・市ホームページのリニューアル ・平成28年度から委員公募における無作為抽出制度の試行実施を決定
25年度	・評価基準の見直し ・無作為抽出による市民参加方法の導入 ・市民参加条例の見直し	・総合的評価を条例基準と加点水準に区分け ・平成26年度に無作為抽出による市民参加方法の導入について検討を行う。 ・条例の見直しについては継続審議とする。
24年度	・条例で公表が義務付けられた事項の順守 ・市民参加条例の実施状況の評価区分の見直し ・住民投票条例の研究と審議会委員構成の調査 ・市民討議会と無作為抽出された市民による市民参加の研究	・市長から職員へ指示 ・「良好」「改善する」「見直す」の3区分から「良好」「妥当」「要改善」「不良」の4区分に変更 ・平成25年度に検討した結果、市民討議会を採用し、実施することは難しいとの結論に至る。
23年度	・広報しろい・ホームページを活用した情報提供の方法について ・「市民討議会」などの市民参加方法の研究 ・行政用語の言い直しについて	・情報提供施策の推進に関する基本方針を策定 ・住民基本台帳の無作為抽出で選出された市民が市民判定人となる事業仕分を実施 ・広報などにおいて、パブリックコメントに(意見公募)と併記することを決定

2. 公募委員候補者登録制度の試行

◆平成26年度

政策会議で試行実施が決定

◆平成27年度

層化無作為抽出法により市民2,000名に公募委員候補者名簿への登録について文書を発送

◆平成28年度

公募員候補者登録制度の試行(3年間)

市民2,000名へのはたらきかけ(一部抜粋)

公募委員候補者名簿へ登録してみませんか！

市の審議会等において、市民の皆さまから幅広くご意見等をいただき、市民ニーズを反映させた計画や施策等を推進していくため、「審議会等の公募委員候補者名簿への登録」を試行的に実施することになりました。

この制度は、審議会等の公募委員への就任を希望される方に公募委員候補者として名簿へご登録いただき、今後公募委員を募集する際、ご協力いただける方に審議会等の公募委員としてご参加いただくものです。

ぜひこの機会に公募委員候補者名簿へご登録ください。皆さまのお申し込みをお待ちしています。

1. 参加を希望する分野

関心があり会議に参加を希望する分野に○をつけてください。(複数選択可)

参加を希望する分野		主な会議の内容
☐	行財政改革に関する分野	主に効率的・効果的な市政の運営について話し合います。
☐	市民活動及び市民参加・協働に関する分野	主に市民活動、市民参加、協働、コミュニティの活性化などについて話し合います。
☐	防犯・防災に関する分野	主に防犯、交通安全、防災などの安全について話し合います。
☐	産業に関する分野	主に農業、商工業などの産業振興について話し合います。
☐	福祉、健康及び医療に関する分野	主に高齢者福祉・障がい者福祉、保健・健康づくり、医療などについて話し合います。
☐	子育て及び教育に関する分野	主に子育てや子どもの教育・健全育成などについて話し合います。
☐	景観及びまちづくりに関する分野	主に都市計画、開発、景観、社会基盤の整備、交通環境などについて話し合います。
☐	環境及びごみ減量化に関する分野	主に環境の保全、ごみの減量化などについて話し合います。
☐	文化、生涯学習及びスポーツに関する分野	主に文化、芸術、生涯学習、スポーツの振興などについて話し合います。

2. 参加可能な時間帯

参加可能な時間帯に○をつけてください。(複数選択可)

参加可能な時間帯		時間帯の目安
☐	平日日中	午前 10 時～午後 5 時頃の 2 時間程度
☐	平日夜間	午後 6 時～午後 9 時頃の 2 時間程度
☐	土曜日・日曜日日中	午前 10 時～午後 5 時頃の 2 時間程度
☐	土曜日・日曜日夜間	午後 6 時～午後 9 時頃の 2 時間程度

3. 一時的保育の利用

会議へ参加するために、一時的保育の利用について○をつけてください。

※一時的保育を利用できる方…生後 6 か月から 10 歳までのお子さんを養育している方

希望する	希望しない
------	-------

氏名、性別、年齢、住所、連絡先、【任意記入】得意なこと・専門経験・資格等

3. 公募委員登録制度の登録申込者

93名(市民公募委員候補者として登録申し込み)

◆性別 男性36名 女性57名

◆年齢別 18歳～29歳 10名

30歳～39歳 15名

40歳～49歳 20名

50歳～59歳 24名

60歳～69歳 13名

70歳～79歳 11名

◆分野別(複数選択可)

行財政改革 21名

市民活動・市民参加 25名

防災・防犯 29名

産業 11名

福祉・健康・医療 53名

子育て・教育 38名

景観・まちづくり 41名

環境・ゴミ減量化 15名

文化・生涯学習・スポーツ 39名

公募委員候補者登録名簿

無作為抽出による審議会等公募委員登録者名簿(平成28年度～平成30年度)																				
参加を希望する分野													参加可能な時間							
登録 番号	性別	年齢	居住	行財政 改革	市民活 動・参加 ・協働	防犯 ・防災	産業	福祉・ 健康・ 医療	子育て 教育	景観・ まちづ くり	環境 ・ゴミ	文化・ 生涯 学習・ スポーツ	平日 日中	平日 夜間	土日 日中	土日 夜間	保育 希望	専門・資格	登録日	公募委員就任状況
1	女	39	堀込	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	する	篆刻師	280229	
2	女	45	根	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	しない		280229	
3	女	51	けやき台	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	しない	子育て支援に興味を持ち研究。助産師、教員	280229	白井市地域福祉計画策定等委員会
4	女	56	十余一	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	しない		280229	
5	女	39	堀込	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	しない		280229	文化会館運営審議会委員
6	女	46	池の上	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	しない		280301	

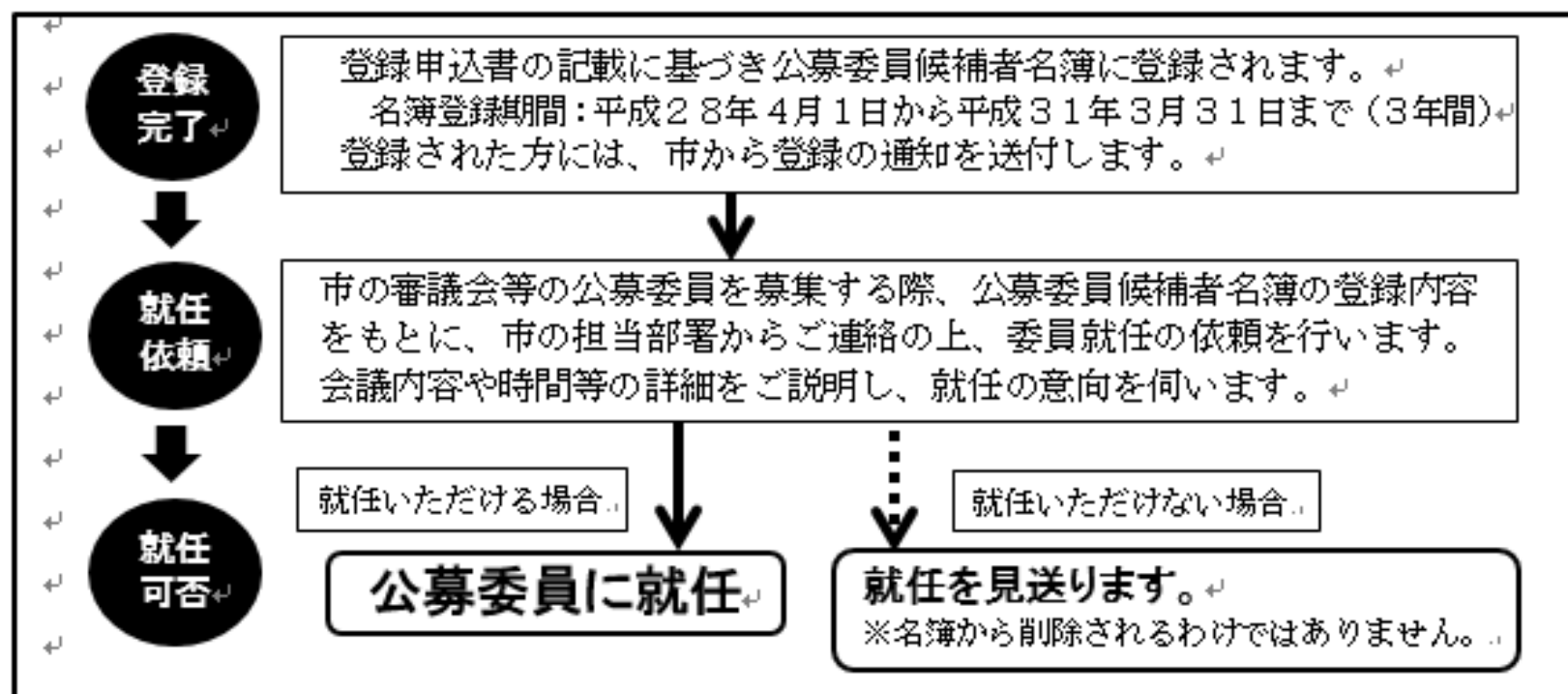
⇒ 担当課は名簿から委嘱したい候補者をリストアップし、就任の依頼を行う

登録申込者への通知

公募委員候補者名簿へ登録された皆さまへ

ご希望の分野の審議会等が公募委員を募集する際、名簿に登録された方の中から公募委員への就任のご依頼をいたします。市の担当部署からご連絡の上、会議の目的、内容、時間等、詳細についてご説明させていただきますので、ご協力いただける場合は公募委員へご就任ください。

名簿登録後から公募委員就任までの流れ



公募委員候補者の審議会への委嘱実績

(平成28年度～平成29年12月まで)

年齢層	男性	女性	審議会名
20～29歳		1人	行政経営改革審議会
30～39歳		2人	文化会館運営協議会、市民活動推進委員会
40～49歳	1人	2人	図書館協議会、ふるさと産品審議会、男女共同参画推進会議
50～59歳	3人	5人	地域福祉計画策定等委員会、行政経営改革審議会、まちづくり審議会、市民参加推進会議、上下水道審議会、障害福祉計画委等策定委員会、総合計画審議会、指定管理者選定委員会
60～69歳	1人	3人	子ども・子育て会議、市民参加推進会議、総合計画審議会、国民健康保険運営協議会
70歳以上	1人		男女共同参画推進会議

⇒ 15審議会で19人が新たに委員に委嘱された

公募委員候補者制度の導入前との比較

年齢層	導入前(H27)		導入後(H28～29)	
	男性	女性	男性	女性
20～29歳				1人
30～39歳				2人
40～49歳			1人	2人
50～59歳	1人	1人	3人	5人
60～69歳	6人	4人	1人	3人
70歳以上	2人		1人	

⇒ これまで60歳代が中心から、50歳代未満の幅広い年代層が増えた

4. 今後の公募委員候補者登録制度(予定)

◆平成30年度

公募委員登録制度の活用実績と効果検証
層化無作為抽出法により市民に公募委員
候補者名簿への登録について新たに文書
を発送

◆平成31年度

公募員候補者登録制度を新たに施行

市民参加職員研修会の実施

日時

平成29年12月22日(金)
13時30分～15時30分

研修講師

- * 千葉大学大学院 社会科学研究院
教授 関谷 昇

研修の特徴

- * 市民参加・協働・自治の必要性や、これからの時代変化の中での在り方を課長・係長職員を対象に職員研修を実施した。

参加者 59名

課長職:16名、主幹～主査補(係長)職:35名、左記以外8名



研修のテーマ：

「市民参加・協働のまちづくり

～これから求められる職員とは～」

